

# 予算

令和3年度  
6月補正(肉付け)後の予算

図 財政課 ☎32-1748

## 令和3年度 市の主な事業と予算

令和3年度に実施予定の主な事業と歳出予算について、「第2次宇城市総合計画」の6つのまちづくり基本目標に沿って紹介します。



### 1 「再生・発展する」まちづくり — 生活基盤・社会基盤・産業基盤 —

- 社会保障・税番号制度対策事業 5,608万円
- 熊本地震復興基金事業 (地域コミュニティ施設再建支援補助金、住まい再建支援補助金) 4億868万円

### 2 「育てる」まちづくり — 学校教育・子育て支援 —

- 小川中学校建替事業 13億5,000万円
- 不知火小学校建替事業 (旧校舍解体など) 2億1,900万円
- 松橋中学校屋内運動場建替事業 (駐車場、テニスコート整備など) 9,750万円
- 小中学校 ICT 教育環境整備事業 1億4,703万円
- こども医療扶助費 1億6,190万円
- 学校給食センター建設事業 6億453万円

### 3 「住み続ける」まちづくり — 生活環境・健康福祉・社会福祉 —

- 障害福祉サービス事業 15億7,802万円
- さしより野菜推進事業 350万円
- 新型コロナウイルス ワクチン接種対策事業 5,406万円

### 4 「持続する」まちづくり — 産業経済・都市機能・行財政改革 —

- 本庁舎大規模改修事業 6億5,000万円
- 道路新設改良事業 (大野川リバーサイドロード線、小川駅西線設計業務など) 3億6,800万円
- 小川駅西開発事業 3,588万円

### 5 「選ばれる」まちづくり — 観光物産・移住定住 —

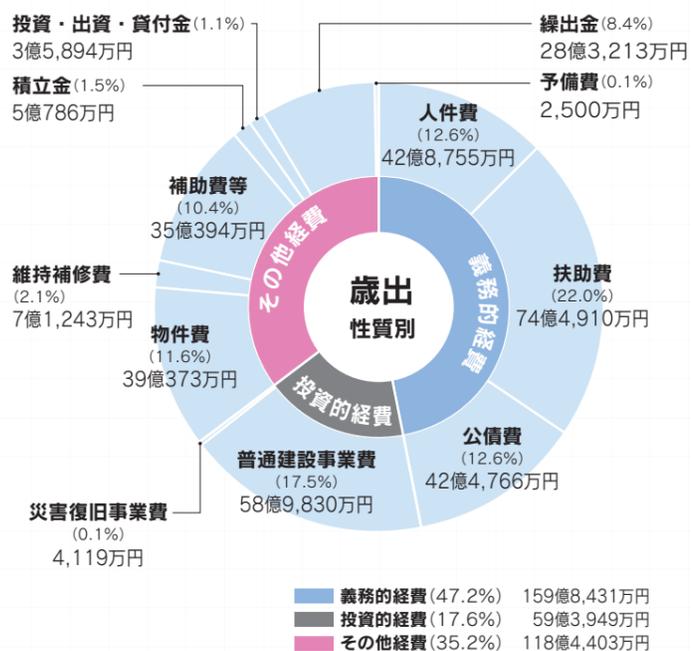
- 地域商社機能強化推進事業 128万円
- 空き家対策事業 891万円
- 移住定住促進事業 1,051万円
- 地方バス対策事業 1億592万円

### 6 「活躍する」まちづくり — 雇用・男女共同参画・交流・文化スポーツ —

- ふれあいスポーツセンター 人工芝張替事業 1億5,000万円
- 岡岳グラウンド照明取替事業 8,730万円
- 中央図書館等改修事業 5億9,413万円
- ふるさと納税事業 12億円
- 松橋総合体育文化センター改修事業 5億6,664万円

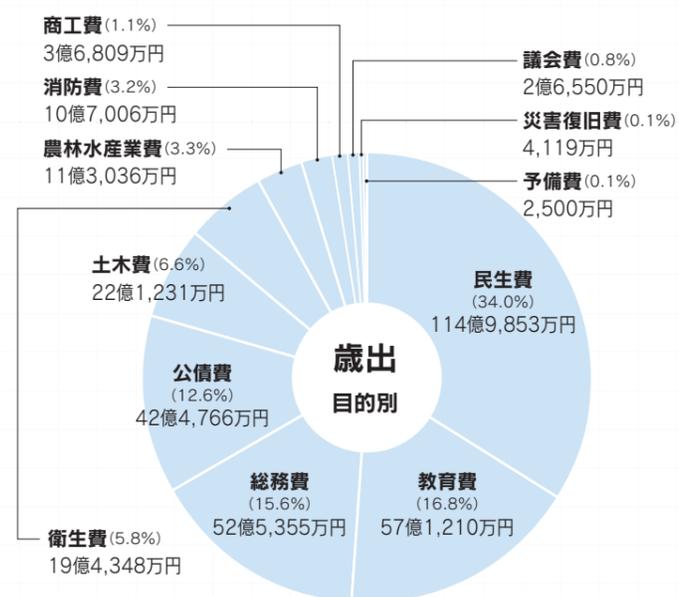
※令和2年度からの繰越予算分は除外

## 一般会計 歳出 (性質別・目的別)



### 歳出の状況 (前年度当初予算比較)

- **扶助費** 子ども・子育て支援費や障害者自立支援費の増などにより、前年度比2億2,129万円の増額
- **公債費** 災害復旧や防災のために借り入れた市債の返済などの増により、前年度比2億6,508万円の増額
- **普通建設事業費** 小川中学校建替事業費や中央図書館等改修事業費なども計上しましたが、不知火小学校の新校舎完成や、新学校給食センター建設完了などにより、前年度比7億285万円の減額
- **災害復旧費** 熊本地震の影響による土木工事や建設工事などの減により、前年度比2億9,208万円の減額

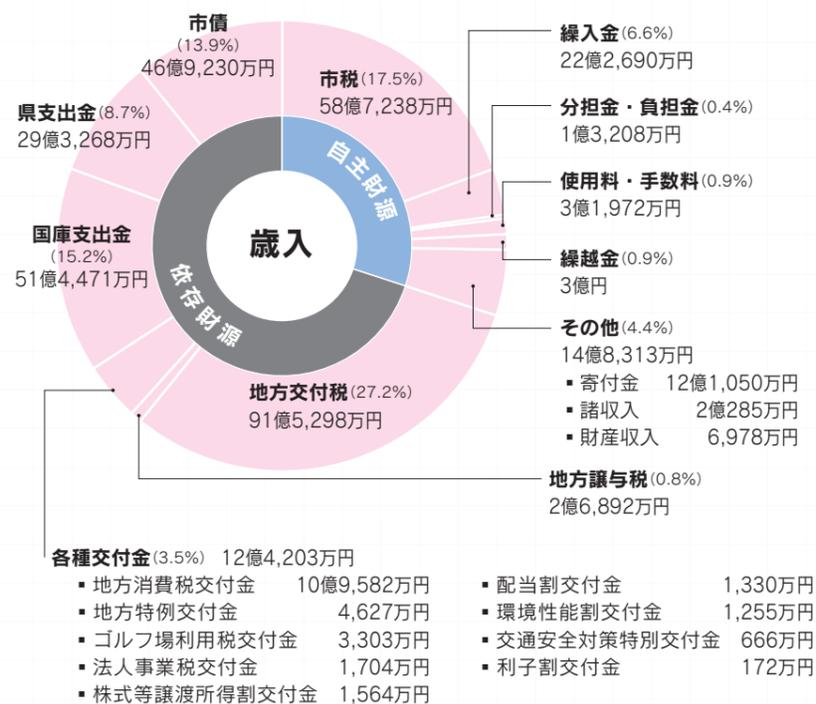


## 一般会計総額 (6月補正後の予算総額)

# 337億 6,783万円

前年度当初予算と比較すると2億1,956万円減少しています。  
※予算総額には、新型コロナウイルス感染症対策関係などとして、緊急的な専決処分により編成した補正予算を含みます。

## 一般会計 歳入



### 歳入の状況 (前年度当初予算比較)

- **市税** 主な自主財源である市税は、新型コロナウイルス感染症の影響による市民税の減少などを見込んで、前年度比4,932万円の減額
- **地方交付税** 主な依存財源である地方交付税は、普通交付税に算入される公債費などが増え、前年度比3億8,298万円の増額
- **市債** 市の新たな借金(市債)は前年度比で7億5,860万円の減額
- **財政調整基金** 一般財源の不足を補うための市の貯金(繰入金の一部である財政調整基金)からの取り崩し額は16億1,420万円で、前年度比5億4,935万円の減額

自主財源(30.7%) 103億3,421万円  
依存財源(69.3%) 234億3,362万円  
( )は構成比

## 6月補正予算額 38億5,578万円

### 6月補正予算の主な内容

市長公約の実現に向け、「第2次宇城市総合計画」に掲げられた6つの基本目標に沿って、一般会計に38億5,578万円を追加計上しました。特に「教育のまちづくり」「コロナの克服」「Society 5.0 社会の実現」などの重点的に取り組む政策を優先し、予算化しています。これからも、限られた財源の中でいかに効率的で効果的な行政運営を行っていくかを念頭に入れ、市政を進めていきます。

### 歳出(性質別)

道路の新設改良工事、中学校や図書館の施設整備などを含む「普通建設事業費」を30億9,781万円、松橋中学校の施設耐力度調査業務委託などの「物件費」を1億8,845万円、道路の舗装や補修などの「維持補修費」を4億5,340万円計上しています。

### 歳入

「普通建設事業費」の増額などに伴い市債が15億5,600万円、「国庫支出金」が7億1,647万円の増額。加えて財源不足などに対応するため基金から11億9,695万円の繰入を予定しています。